

# 実 技 試 験

平成24年9月

3級ファイナンシャル・プランニング技能検定 実技試験  
資産設計提案業務（FP協会）

☆☆☆解答に当たっての注意事項☆☆☆

- ・ 試験問題については、特に指示のない限り、平成24年4月1日現在施行の法令等に基づいて解答してください。
- ・ 次の各問について答えを1つ選び、その番号を解答用紙にマークしてください。

【第1問】下記の（問1）、（問2）について解答しなさい。

問1

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。税理士資格を有していないファイナンシャル・プランナーが業務において行った次の行為のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 仮定の事例に基づいて、投資収益に対する課税額の計算方法を提示した。
2. 顧客が納付すべき所得税の具体的な税額計算を無償で行い、税務書類を作成した。
3. 不動産取引に関し、一般的な税法の解釈を顧客に説明した。

## 問2

下記は、西山家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）にあてはまる数値として、正しいものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算結果は万円未満を四捨五入することとする。

＜西山家のキャッシュフロー表＞

（単位：万円）

経過年数			現在	1年	2年
西暦（年）			2012	2013	2014
平成（年）			24	25	26
家族・年齢	西山 博	本人	55歳	56歳	57歳
	寛子	妻	54歳	55歳	56歳
ライフイベント		変動率		海外旅行	車の買替え
収入	給与収入（夫）	1%	623	629	
	給与収入（妻）	—	80	80	80
	収入合計	—	703	709	
支出	基本生活費	1%	326	329	
	住宅関連費	—	84	84	84
	保険料	—	60	60	60
	一時的支出	—	33	100	350
	その他支出	—	40	40	40
	支出合計	—	543	613	
年間収支		—	160		
金融資産残高		1%	1,637	(ア)	

※年齢は各年12月31日現在のものとし、平成24年を基準年とする。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部空欄にしてある。

1. 1,557（万円）
2. 1,733（万円）
3. 1,749（万円）

【第2問】下記の（問3）～（問5）について解答しなさい。

問3

下記は、経済用語についてまとめた表である。下表に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

経済用語	主な内容
（ア）	金融部門から経済全体に供給されている通貨の総量のこと、日本銀行が毎月公表している。2008年から（ア）という名称で公表されている。
（イ）	日本銀行が景気の現状や先行きの見通しについて企業に直接行うアンケート調査で、全国企業短期経済観測調査の略称である。年4回、調査・公表される。
（ウ）	企業間で取引される商品の価格変動を表したもので、日本銀行が毎月公表している。国際商品市況や外国為替相場の影響を受けやすい。

1. 空欄（ア）に入る語句は、「マネーストック」である。
2. 空欄（イ）に入る語句は、「日銀短観」である。
3. 空欄（ウ）に入る語句は、「景気動向指数」である。

問4

下記<資料>に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、問題の性質上、<資料>の一部を(\*\*\* )としている。

<資料>

[マーケット (3月7日)]			
WORLD MARKETS		7日	
日経平均株価	↘	円・ドル(東京)	↗
9576円06銭		80円76銭~77銭	
-61円57銭		(*** )	
NYダウ 現地11時	↗	円・ユーロ(東京)	↗
1万2787.04ドル		106円09銭~13銭	
+27.89ドル		(*** )	
( c )	↘	ドバイ原油	↘
10年国債利回り321回債 日本相互証券		現物、FOB、1/バレル、5月渡し	
0.975%		120.65~120.75ドル	
-0.010%		-1.00ドル	

[マーケット (3月8日)]			
WORLD MARKETS		8日	
日経平均株価	↗	円・ドル(東京)	↘
9768円96銭		81円32銭~33銭	
+192円90銭		(*** )	
NYダウ 現地11時	↗	円・ユーロ(東京)	↘
1万2881.83ドル		107円16銭~20銭	
+44.50ドル		(*** )	
( c )	↗	ドバイ原油	↗
10年国債利回り321回債 日本相互証券		現物、FOB、1/バレル、5月渡し	
0.985%		122.45~122.55ドル	
+0.010%		+1.80ドル	

(出所：日本経済新聞2012年3月8日付、2012年3月9日付、1面)

1. (a) は、東京証券取引所市場第一部に上場している銘柄のうち、代表的な225銘柄の株価を平均し、かつ、連続性を失わせないように株価の権利落ちなどを修正した平均株価である。
2. (b) は、前日のマーケット(80円76銭~77銭)よりも、円高になったことを示している。
3. (c) に入る用語は、「短期金利」である。

問5

下記<資料>に関する次の記述の空欄(ア)、(イ)にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。

<資料>

年月【資本異動】	万株	【株式】% <sub>1</sub>	1,053千株	【株主】58,213名<11.9>	千株
05. 3	交換	987	【貸借】【優待】	日本トラスティ信託口 128(12.2)	
05. 8	交換	1,780	時価総額 656億円	日本トラスティ信託口 60( 5.7)	
06. 3	和:0.12195	1,997	【財務】<連11.12> 百万円	日本マスター信託口 59( 5.6)	
06. 4	#20→1	99	総資産 256,817	石原昌幸 32( 3.0)	
06.10	公5万株 (195000円)	104	株主持分 89,967	自社(自己株口) 27( 2.6)	
			株主持分比率 35.0%	資産管理サービス信託銀行	
			資本金 10,940	年金 25( 2.4)	
東証	高値	安値	利益剰余金 60,404	CBニューヨーク・オービス・エスア	
06~08	192000(06)	45850(08)	有利子負債 108,765	イシーアヴァー 24( 2.3)	
09	99600(12)	47000(1)	【指標等】<連11.3>	ノーザントラストAVFCリNTガン	
10	105900(4)	68900(10)	ROE 10.4% 予10.9%	ジーアイリッシュ 23( 2.2)	
11	79900(1)	47000(3)	ROA 3.3% 予3.8%	チェース(ロンドン)SLオムニ	
	高値	安値	調整1株益 7,750円	バス・アカウント 21( 2.0)	
11.10	60100	54000	最高純益(07.3) 10,470	㈱オリンピア 19( 1.8)	
11	60700	56200	設備投資 4,800 予3,000	<外国>24.2% <浮動株>28.1%	
12	59700	55200	減価償却 7,347 予4,000	<投信> 5.6% <特定株>40.4%	
12. 1	60000	53800	研究開発 0 予 0	【役員】(代取)竹生道巨 鎌田	
#2	64000	58100	【キャッシュフロー】 億円	隆介(秋本) 澤田勲 片山典之	
			営業CF 148( 148)	蟹瀬誠一 澤田勲 片山典之	
			投資CF ▲139(▲177)	(常監)對田恒雄 ⇨巻末	
			財務CF ▲7( 8)	【連結】アコーディアAH	
			現金同等物 47( 46)	11,アコーディアAH12	
【包括利益】<連11.12> 百万円					
12,958(8,113)					
【採用】初20.5万円					
予前年並 内定20(女・) 中絶0					
【業績】(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)
連09. 3	87,442	12,693	10,442	8,511	8,110
連10. 3	87,372	14,086	12,373	10,438	9,931
連11. 3	86,693	13,316	11,460	8,121	7,762
連12. 3予	87,300	13,200	11,000	9,800	9,552
連13. 3予	90,800	13,800	11,600	8,000	7,797
中11. 9	44,915	6,860	6,036	8,421	8,210
中12. 9予	46,700	7,300	6,500	4,000	3,899
西10. 4-12	71,196	14,020	12,592	11,022	10,476
西11. 4-12	69,899	12,698	11,256	12,958	12,632
会12. 3予	86,900	13,100	10,900	9,700	(11.10.17発表)
					87,698(76,086)
					【配当】 配当金(円)
					07. 3 0
					08. 3 1000
					09. 3 1000
					10. 3 1000
					11. 3 1000
					12. 3予 1000
					13. 3予 1000
					【従業員】<11.12>連5,611名 4,210名(40.7歳) 男415名
					【証券】【東京】(株)大和、Gサックス(副)日興、み
					ずば、三菱UFJモル 函三菱UFJ信 臨トーマツ
					【銀行】みずほC、三井住友、三菱U
					【業種別時価総額順位】 外食・娯楽サービス 10/135社
					【本社】 150-0002東京都渋谷区渋谷2-15-1
					☎03-6688-1500
					【ゴルフコース】 137(保有コース135,他2)

(出所：東洋経済新報社「会社四季報」2012年2集)

- この企業の株を1単位(1単位)保有していた場合、2010年3月期における年間の配当金額(税引前)は(ア)円であったことが分かる。
- 2010年3月期における1株当たりの利益は(イ)円であったことが分かる。

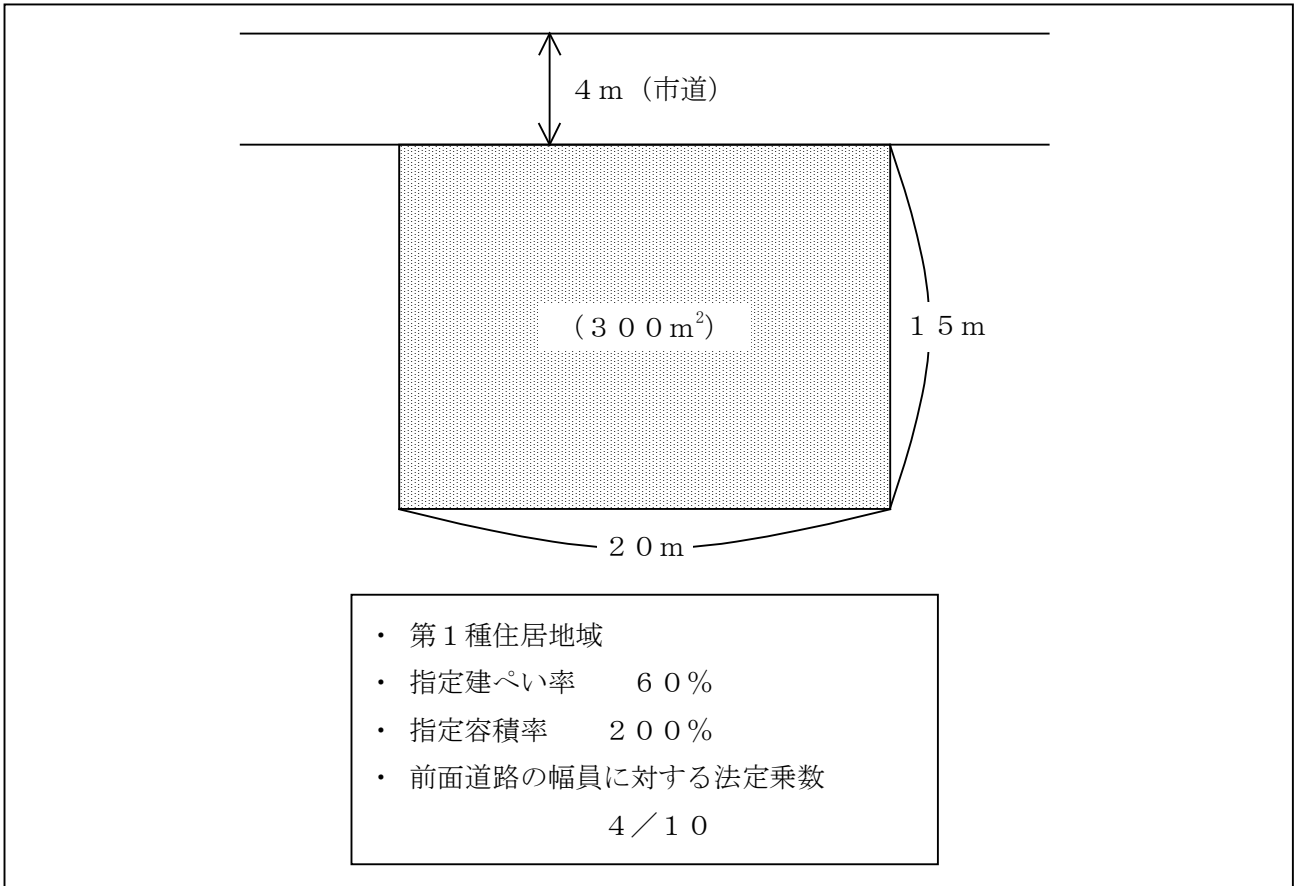
- (ア) 1,000 (イ) 9,931
- (ア) 1,000 (イ) 7,762
- (ア) 9,931 (イ) 1,000

【第3問】下記の（問6）について解答しなさい。

問6

建築基準法に従い、下記<資料>の土地に建築物を建築する場合、建築可能な建築物の延べ面積（床面積の合計）として、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

<資料>




1. 180 m<sup>2</sup>
2. 480 m<sup>2</sup>
3. 600 m<sup>2</sup>

【第4問】下記の（問7）～（問11）について解答しなさい。

問7

皆川梨乃さんが加入している医療保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、梨乃さんはこれまでに下記＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険種類 終身医療保険		保険証券記号番号 △△△-××××	
保険契約者	皆川 梨乃 様	ご印鑑 	◆契約日 2011年2月10日 ◆主契約の保険期間 終身 ◆主契約の保険料払込期間 60歳払込満了
被保険者	皆川 梨乃 様 契約年齢 30歳 女性		
受取人	〔給付金〕被保険者 様 〔死亡保険金〕皆川 明彦 様（夫）		
<b>■ご契約内容</b>			
給付金・保険金の内容	給付金額・保険金額	保険期間	
入院給付金	日額 5,000円 *病気やケガで1日以上継続入院のとき、入院開始日からその日を含めて1日目から支払います。 *同一事由の1回の入院給付金支払い限度は60日、通算して1,000日となります。	終身	
手術給付金	給付金額 入院給付金日額×10・20・40倍 *所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）手術給付金を支払います。		
死亡・高度障害保険金	500,000円 *死亡または所定の高度障害となった場合に支払います。		
<b>■保険料の内容</b>		<b>■その他付加されている特約・特則等</b>	
払込保険料合計                   *,***円/月 払込方法（回数）：年12回 払込期月                         : 毎月		保険料口座振替特約 *以下余白	

皆川梨乃さんが、平成24年中にガン（悪性新生物）と診断され、その後30日間入院し、給付倍率20倍の手術（1回）を受けた場合、支払われる給付金は、合計（ア）である。


1. 10万円
2. 25万円
3. 50万円



問 8

緒方健一さんが加入している生命保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、健一さんはこれまでに下記＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険証券記号番号 ○○△△××□□	定期保険特約付終身保険	
保険契約者 緒方 健一 様	保険契約者印	◇契約日（保険期間の始期） 2010年3月18日
被保険者 緒方 健一 様 契約年齢 35歳 男性		◇主契約の保険期間 終身
受取人 (死亡保険金) 緒方 良子 様 (妻)		◇主契約の保険料払込期間 60歳払込満了
受取割合 10割		
◆ご契約内容		◆お払込みいただく合計保険料
終身保険金額（主契約保険金額） 700万円 定期保険特約保険金額 1,000万円 特定疾病保障定期保険特約保険金額 200万円 傷害特約保険金額 100万円 災害入院特約〔本人・妻型〕 入院5日目から 日額 5,000円 疾病入院特約〔本人・妻型〕 入院5日目から 日額 5,000円 不慮の事故や疾病により所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて（入院給付金日額の10倍・20倍・40倍）手術給付金を支払います。 成人病入院特約 入院5日目から 日額 5,000円 リビングニーズ特約 ※妻の場合は、本人の給付金の6割の日額となります。		毎回 **,****円/月 [保険料払込方法（回数）] 団体月払い ◇社員配当金支払方法 利息を付けて積立 ◇特約の払込期間および保険期間 10年

緒方健一さんが、平成24年中に交通事故により死亡（即死）した場合に支払われる死亡保険金は、合計（ア）である。

1. 1,100万円
2. 1,900万円
3. 2,000万円

### 問9

下記の生命保険の契約A～Cについて、保険金・給付金が支払われた場合の課税に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

<生命保険の加入状況>

	保険種類	保険料 払込方法	保険契約者 (保険料負担者)	被保険者	死亡保険金 受取人	満期保険金 受取人
契約A	養老保険	年払い	妻	夫	妻	妻
契約B	終身保険	月払い	夫	夫	妻	—
契約C	医療保険	月払い	妻	妻	夫	—

1. 契約Aについて、保険契約の満期により妻が受け取った満期保険金は、贈与税の課税対象となる。
2. 契約Bについて、夫の死亡により妻が受け取った死亡保険金は、相続税の課税対象となる。
3. 契約Cについて、妻の入院により妻が受け取った入院給付金は、雑所得として所得税・住民税の課税対象となる。

問 10

大嶋正樹さんは、下記の内容の生命保険に加入している。大嶋さんの平成24年分の所得税の計算における生命保険料控除額として、正しいものはどれか。なお、下記以外に加入している生命保険はないものとする。

契約年月日	平成24年5月21日
保険種類	終身保険
保険契約者 (保険料負担者)	大嶋 正樹
被保険者	大嶋 正樹
死亡保険金受取人	大嶋 由紀子 (妻)
平成24年中の 保険料支払額	70,000円 ・ 年払い (平成24年5月中に支払済) ・ 一般の生命保険料控除の対象となる

<所得税の一般の生命保険料控除および個人年金保険料控除の控除額の速算表>

[平成23年12月31日以前の契約分]

年間の支払保険料の合計		控除額
25,000円 以下		支払金額
25,000円 超	50,000円 以下	支払金額×1/2 + 12,500円
50,000円 超	100,000円 以下	支払金額×1/4 + 25,000円
100,000円 超		50,000円

[平成24年1月1日以後の契約分]

年間の支払保険料の合計		控除額
20,000円 以下		支払金額
20,000円 超	40,000円 以下	支払金額×1/2 + 10,000円
40,000円 超	80,000円 以下	支払金額×1/4 + 20,000円
80,000円 超		40,000円

1. 37,500円
2. 40,000円
3. 42,500円

問 1 1

下記は、地震保険についてまとめた表である。下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組み合わせとして、最も適切なものはどれか。

保険金額	火災保険金額の（ア）の範囲内で設定
補償の限度額	居住用建物：（イ） 家財          ：1,000万円
地震保険料控除額 （限度額）	所得税：50,000円 住民税：（ウ）

1. （ア）30%～50%   （イ）5,000万円   （ウ）25,000円
2. （ア）30%～90%   （イ）5,000万円   （ウ）50,000円
3. （ア）30%～90%   （イ）3,000万円   （ウ）25,000円



【第5問】下記の（問12）について解答しなさい。

問12

会員の柴田靖男さんは、平成24年12月に勤務先を定年退職する予定である。柴田さんの退職に係るデータが下記＜資料＞のとおりである場合、柴田さんの退職所得の金額として、正しいものはどれか。なお、柴田さんは役員ではなく、退職は障害者になったことに基因するものではない。また、前年以前に受け取った退職金はないものとする。

＜資料＞

[柴田さんの退職に係るデータ]

- ・ 支給される退職一時金：3,000万円
- ・ 勤続年数：30年

[参考：退職所得控除額の求め方]

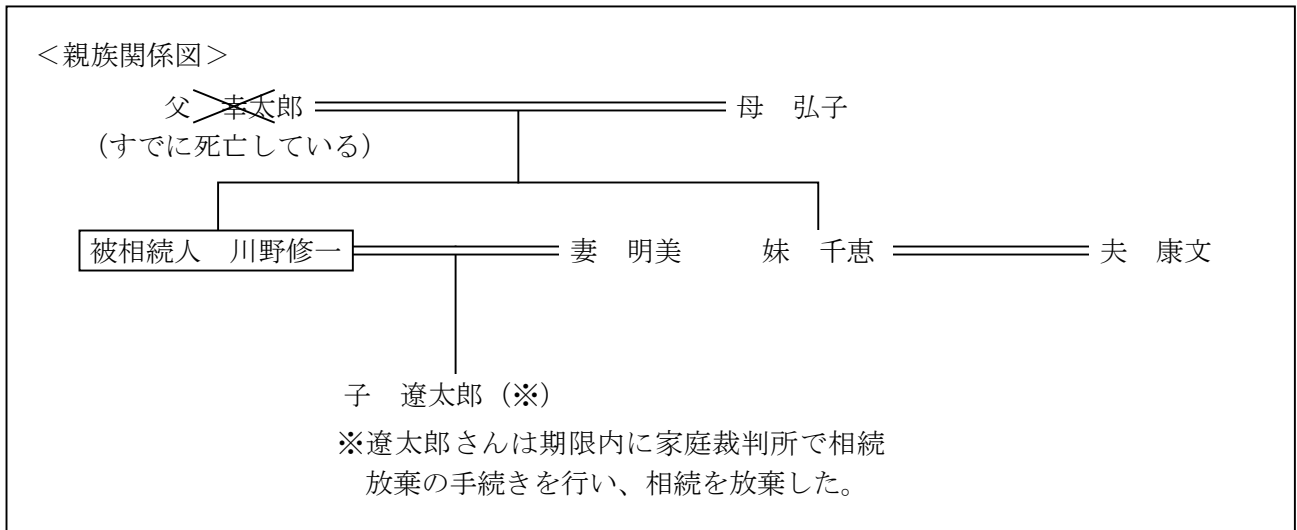
勤続年数	退職所得控除額
20年以下	40万円×勤続年数（80万円に満たない場合には、80万円）
20年超	800万円＋70万円×（勤続年数－20年）

1. 2,250万円
2. 900万円
3. 750万円

【第6問】下記の（問13）、（問14）について解答しなさい。

問13

平成24年8月4日に相続が開始された川野修一さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。



1. 相続人は、明美さんのみである。
2. 相続人は、明美さんと弘子さんである。
3. 相続人は、明美さん、千恵さん、康文さんである。

問14

（問13）の川野遼太郎さんは、相続を放棄している。相続放棄における家庭裁判所への申述期限に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる語句として、正しいものはどれか。

相続開始があったことを知った時から（ア）に申述しなければならないとされている。

1. 3ヵ月以内
2. 4ヵ月以内
3. 6ヵ月以内

【第7問】下記の（問15）～（問20）について解答しなさい。

<設例>

南村大悟さんは、株式会社ZYに勤務する会社員である。平成24年6月に待望の第一子が生まれたこともあり、今後の生活設計について真剣に考えようと思い、ファイナンシャル・プランナー（FP）で税理士でもある水瀬さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも平成24年9月1日現在のものである。

<家族構成（同居家族）>

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業
南村 大悟	本人	昭和59年5月14日	28歳	会社員
杏	妻	昭和59年4月16日	28歳	会社員（※）
千衣	長女	平成24年6月20日	0歳	

※杏さんは、現在、育児休業取得中である。

<保有資産（時価）> (単位：万円)

金融資産	
普通預金	250
定期預金	450
投資信託	30
個人向け国債	30
生命保険（解約返戻金相当額）	120

<負債>

なし

<マイホーム>

大悟さんは、定期預金450万円のうち400万円を頭金とし、民間金融機関で2,100万円の住宅ローンを組んで、2,500万円の新築マンションを購入したいと考えている。

<その他>

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこととする。



問 15

F P の水瀬さんは、南村家の（マンション購入後の）バランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に記載のあるデータに基づいて解答することとし、＜設例＞に記載のないデータについては一切考慮しないこととする。

＜南村家の（マンション購入後の）バランスシート＞

（単位：万円）

[資産]		[負債]	
金融資産		住宅ローン	×××
普通預金	×××		
定期預金	×××	負債合計	×××
投資信託	×××		
個人向け国債	×××	[純資産]	(ア)
生命保険（解約返戻金相当額）	×××		
不動産（マンション）	×××		
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1. 880（万円）
2. 2,100（万円）
3. 2,980（万円）

問 16

大悟さんと杏さんは、今後15年間で積立貯蓄をして、長女の千衣さんの教育資金として200万円を準備したいと考えている。積立期間中に年利2%で複利運用できるものとした場合、200万円を準備するために必要な毎年の積立金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の3つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、円単位で解答することとする。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料：係数早見表（年利2.0%）＞

	現価係数	減債基金係数	資本回収係数
15年	0.743	0.058	0.078

1. 116,000円
2. 134,000円
3. 156,000円

### 問 17

大悟さんは、新築マンションの購入に際しては、住宅借入金等特別控除（以下「住宅ローン控除」という）の適用を受けたいと考えており、住宅ローン控除についてFPの水瀬さんに質問をした。住宅ローン控除に関する水瀬さんの次の説明のうち、最も適切なものはどれか。なお、購入する新築マンションは、認定長期優良住宅には該当しないものとする。

1. 「住宅ローン控除の適用を受けた後、仮に、国内転勤になり家族全員がその住居から転居した場合でも、転勤はやむを得ない事情であるため、居住の用に供さなくなった転居期間中も、引き続き住宅ローン控除の適用を受けることができます。」
2. 「住宅ローン控除は、控除を受ける年分の合計所得金額が1,500万円を超えた場合には、その年以降住宅ローン控除の適用を受けることができなくなります。」
3. 「住宅ローン控除の適用を受けるためには、借入金の返済期間が10年以上で、分割返済により返済されるものであることという要件を満たす必要があります。」

### 問 18

杏さんは、大悟さんが万一死亡した場合、自分と残された子どもが生活していけるかどうか不安になり、FPの水瀬さんに相談をした。仮に1年後、大悟さんが不慮の事故により死亡した場合、大悟さんの死亡時点において杏さんに支給される公的年金の遺族給付として、最も適切なものはどれか。なお、大悟さんは、入社時（22歳で入社）から死亡時まで厚生年金保険に加入しており、遺族給付における生計維持要件は満たされているものとする。

1. 遺族厚生年金と遺族基礎年金が支給される。
2. 遺族厚生年金と中高齢寡婦加算額が支給される。
3. 遺族厚生年金と遺族基礎年金と中高齢寡婦加算額が支給される。

### 問 19

大悟さんは、将来受け取る年金についての理解を深めておきたいと思い、FPの水瀬さんに質問をした。老齢年金に関する水瀬さんの次の説明のうち、最も適切なものはどれか。

1. 「老齢基礎年金を受給するためには、原則として、保険料納付済期間と保険料免除期間の合計が25年以上なければなりません。」
2. 「65歳からの老齢厚生年金は、老齢基礎年金のように繰り下げて受給することはできません。」
3. 「65歳からの老齢厚生年金は、老齢基礎年金の受給資格要件を満たしていなくても、厚生年金保険の被保険者期間が2年以上あれば受給することができます。」

## 問20

杏さんは、九州で一人暮らしをしている祖父の平八さんの体調が最近あまり良くないことから、介護が必要になったときの平八さんの生活について心配している。そこで、公的介護保険制度についてFPの水瀬さんに質問をした。公的介護保険に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 介護保険の被保険者の年齢要件は、第1号被保険者が60歳以上、第2号被保険者が35歳以上60歳未満とされている。
2. 介護サービスを受けようとする被保険者は、要支援者または要介護者に該当することについて、市町村の認定を受けなければならない。
3. 介護保険による居宅サービスや施設サービスなどの介護サービスを受けるときの利用者負担割合は、通常3割である。